

第 5 回河内長野市立保育所民営化移管法人選定委員会（現地調査）

開催日時：9月25日（火）午前9時～18時20分

出席委員：7名（全員）

内 容：応募法人実施審査（現地調査）

< 応募いただいた4法人の運営する各保育所の現地調査を行った。 >

第 6 回河内長野市立保育所民営化移管法人選定委員会議事録（要約）

開催日時：10月9日（火）午後2時～5時

場 所：河内長野市役所 3階 301会議室

出席委員：7名（全員）

案件： 応募法人の評価について

議 長：事務局のほうに、評価表をまとめていただいています。議論の中で修正が可能とされているので、議論の中で移管法人を決めていきたいと考えていますので宜しくお願いします

順位としては、1位 保育園、2位 保育園、3位 保育園、4位 保育園、と妥当な線で出ていると思います。

仮集計の結果を見ながら各委員の意見を聞いていきます。 委員、財務関係からお願いします

委 員：財務については経営基盤が安定しているところと、そうでないところは借入金が数字的に出てくるかなと思う。事業活動収支計算書で収支状況を見たところ、保育園が一番収支が安定しているので「8」をつけさせていただいている。その他、 保育園、 保育園は 保育園に比べて低い状態。 保育園は数字は低い但他的事業があるので、全体的にみると収支は今後も大丈夫だと思うが、単独ではやはり 保育園が安定している。借入金については、 保育園が無借金なので5、後のところは、 保育園4、 保育園3、 保育園2とつけた。自分自身、 を一番高くつけている。書類審査を見て、熱意を感じたので評価した。保護者、地域住民との関係、保育内容（感染症対策以外）についてや施設長の考え方も他と比べてよいかなと思った。 保育園については、書類審

査上、ハンドブック参照というのはまずい。きちんと提案書にまとめるべきで、こういう点が他と比べると落ちるかなと思ひ、低くなっている。は、保育園を拡大していきたいという思ひは伝わったが、汐の宮保育所と比べた時にどうか？と、思ひ低い評価となった。保育園については、園長、理事長の熱意は良く伝わったが、財務的なところが弱く、整合性が取れたなかつたのでと比べて低い評価となっている。現地調査では栄養士の「給食は一から手作り」という意見も含め一番よかつたが、書類審査のところでは保育園より低い評価となっている

委員：コンプライアンスの面で、は運営主体が不健全なところはあるが、是正されているのでフラットと考えている。運営体制を見たとき老健を運営しているのでそちらと似ているなと感じる。老健等の運営が出来なくなつて来た時にどうなるのか。今後脆弱になるのではないかと感じる。

人的体制と今後の体制を見ると、保育園は理事、園長、次期園長候補者と、比較的整っている。理事が目配せをしながら見ていくことが出来る。も大丈夫だが、保育園は、資料作りの面でも人の体制の面でも人がいないというところが出てくるあたりが不安。保育園に関しては、理事長、園長がおられるが、保育園の運営を園長の個性でやられているので、そこから離れた時にやっていけるのかが不安材料となる。保育内容については保育園は一定保育理念を持ち、園児の成長に合わせて保育をしていると思う。保育園についても同じ思ひ。保育園も悪いわけではないがクラスの部屋の配置がどうか...(小さい子どもの部屋が2階にある)と感じた。はしっかりしていると思つたが、経営をしているという観点なのかなと感じた。保育理念よりも経営のほうが先で、認定保育園の調整を取るのが精一杯の感じがした。保育園としては不安が残る。総合的に安定、人的体制、保育についても一番だつた

委員：一つだけ気になることがある。保育園が心配。資金収支計算書を頂いて(実際に経営してきた立場で)検討すると、保育園は1億円規模の保育園といえる。収支のバランスは取れているが無理して黒字を作っているという感じがする。最近では、人件費を7割に押さえるのが難しく8割に近づいているのが現状だが、6200万円あまりに抑えている。中身を検討していたら、基本給が2600万円、諸手当が2300万円で月給の半分は手当ということになっている。基本給が低い。また、非常勤については670万円しか計上していなくて、1人200万円かかると考えたら、2人が3人しか雇えない。それでよくやっているなと感じている。働いている人もよそと比べて賃金が低いと勤労意欲がわかないし、職員を押さえつけているのではないかと感じてしまう。人材の確保が難しいと考えている。給食費についても340万円余りでは不足だと感じる。保育園は900万円、保育園は600万円になっている。食材を買い叩いているか、また、どのような食材

を使っているのか疑問。河内長野市ではできるだけ有機栽培の野菜を取り寄せていた。甘くておいしいが高くてついている。献立については牛肉は使っていないし、豚肉、鶏肉も少ない。魚が多いが、子どもにとっては肉類も出るようにと考えていたが、肉の出る回数が少ない。業務委託費が1000万円以上ということについては 保育園の調理委託が1000万円なので給食調理の業者委託をしているのではないかと思う。保育材料費も100万円に抑えている。紙・絵の具・その他、どんなに押さえても200万円は必要。100万円抑えられているのは、手作りのものを使っているのか。だが、手作りに時間がかかるので、このメンバーで手作りの教材が出来るのか疑問。当初、2500万円位借りている。毎年200万円を返しているが、今後は収支を考えると難しいと読み取れる。現場へ行ってみた感じでも保育士と子どもと一緒に活動している一体感は感じられなかった。

議長：全般的に上位と下位に分かれている。ざっくりした上下は妥当だと思う。結果は

保育園が高かったが、 保育園とどちらを取っていただいても、やっていただけると思う。どちらについても言わせて頂かなくはないことがある。書類審査では 保育園が上にある。 保育園で気になったことは0歳児の保育士のキャリアが3年から5年の保育士を配置されるとの事だが、乳児においてはベテランの保育士が見て欲しい。 保育園では「看護師は兼任でしてもらおう」ということだったが、これについては専任で必要だときっちり言わねばならない。その点においては 保育園は評価できる。書類の中で、 保育園の調理員で検便をしていない月があるということは法令違反である。 保育園は××市の監査で第三者評価の人選をしてくださいとの指摘があった。そのところが気になった。

プレゼンテーションについては、 保育園は十分まとまっていたと思う。また、 保育園は評価できたが 保育園のほうが良かった。

実地審査については、 保育園は、子どもの姿を見ていて自然な感じで子どもがのびのびしていた。 は、園庭で遊んでいる姿については 保育園、 保育園のほうが評価は高かった。 保育園については全体を見る保育士が必ずいて、チームワークがよかった。 保育園も誰か1人は全体を見ている保育士がいた。また、第三者評価を受けていることと保育書類がしっかりとしている。見学会で評価が上がった。

委員：全体的に評価が甘くなってしまっていて高くなってしまったことが気になる。

保育園はユニホームが揃っていたり、建物がきれいだった。 は、保育園らしさが感じられなくて、老健の方がこけてしまったらどうなるのかと思ってしまった。また、汐の宮保育所とのギャップがありすぎると感じた。 保育園は裸足保育は良いと思ったが、衛生面で危惧を感じた。汐の宮保育所は 保育園ほど一度にいろんなことが出来ないの、 保育園のほうが良いと思った

委員：経営面、詳しい保育面からはずれてしまうかもしれないが、保育園の園長先生が指に大きな指輪ををしていたことが気になった。保育園については、現地審査では環境・設備も良かったが、次期園長先生が全く話されず、園長先生の後ろにいて、話されないことが気になった。また、理事長が一番前で踏ん反り帰っていたのが気になった。移管保育園が保育園に決まったときには第一に保育園、第二に汐の宮保育所と、なるのではないかと感じてしまう。そうなるのと保育士の居心地が悪くなるのではないかと心配になる。保育園は、老人ホームにしか見えなかった。全てが揃っているところで育つと、次の小学校でのギャップがありすぎるのではないかと思う。また、三者協議できちんと保護者と話し合ってもらえないのではないかと不安を感じる。今の汐の宮保育所を移管するにはふさわしくないと思う。三者協議等、後々のことを考えると、保育園が1対1で話し合えるのではないかと思った。保育所を、保護者と一緒に創って行くということであれば保育園が良いと思う

委員：保育園は、保育面では良くないとは思わなかったが、読むことを辞めようかなと思うくらい、書類審査での印象が悪くなかった。園長先生のお話を聞く中では、汐の宮保育所の保育を引き継いでほもらえないと感じた。は、現地審査に行った時も保護者会会長と次の日に行った時も自分たちが求めている保育ではないなと感じた。保育士が全体的に若すぎるし、保育も気になった。案内してくれた年配の女性と話していると、考え方が保育園ではなく、幼稚園だと感じた。

保育園については、実地審査に行くと、建物が立派ということを感じたが、理事長の態度が目についた。2日目は主任さんと園長先生が案内してくれたがうたを歌っている姿や整列している姿(保育)が汐の宮の雰囲気と違った。障がい児のいるクラスを見たが、保育士が付きりだったので保育士の数は多いと感じたし、全体の保育士の数も多いと感じた。ただ、思っていることを全ていえないような圧迫感があった。主任先生の考えを聞きたかった。保育園は書類審査は

保育園より劣っていたが、実地審査では他園に比べて構えている感じがなく、好感が持てた。2日目に見学に行ったときはリズムをしていた(さくらさくらんぼ)、汐の宮保育所と同じ内容であったり、保育士も一緒にやっていたので、見ていて安心感が持てた。住宅の中にある保育所という事で園長や主任と話したが一番話しやすかった。経営についてはわからないが保育という点では保育園だと思

議長：役所と保護者で指導し、改善できるものと改善できないものがあると感じたが・・・

委員：先ほどの続きですが、保育園の無借金主義は難しい事で、借金なしで出来ることと出来ないことをはっきり口にするにはすばらしいと思う。河内長野市市内で、保育園は畑や農作業を子どもと一緒にすることが良いところで、畑の収穫物を食材にのせるなど良い流れがある。また、園庭については隣の運動場を

普段は使っているのに、十分に運動は出来ている。子どもは河内長野市の北部に多く、南部には少ない。南地域と北地域で2園経営する事で互いのよさを吸収しようとしているのではないかと考えている。これは 保育園でも言えること。

保育園の理事長の評価は悪いが、汐の宮の地域から理事を出すということだったので、汐の宮は汐の宮の経営をされると思う。歴史や今までの実績があるので安心して見ていられる。形にはまったところがあるように思われるかもしれないが、市内の12園ではナンバーワンだと思っている。市内でどう子どもを集めてくるかが課題だと考えている

議長：見学にいかれたということですが、保護者会会長のご意見はいかがでしたか

委員：時間が無いという事で3園に絞って見学をさせてもらった

議長： 保育園と 保育園はどうでしたか

委員： 保育園の施設は良いと言っていたが、園庭を見て、「あんなに遊具があって、どうなんだろう、他の遊びが出来ないのではないかと」言っていた

議長：自転車がありましたね。「公園で、小さい時から自転車の練習をしている」との事。遊具の点検も基本的に自分達で毎日しているとおっしゃってました

委員： 保育園の裸足保育に関して、衛生的にどのようにしているか見えなかったが、汐の宮保育所も同じような感じがしている

議長：保護者みんなが同じではないが、どのような保育を望んでおられるのか

委員：経営がそんなに問題が無いのであれば、 保育園の保育が良いと思っている

委員：経営的には他園より劣っているかもしれないが、汐の宮保育所を経営していくことは出来ない状態なのか

委員：収支のバランスは取れてはいるが、人件費が安すぎる。報酬が低いのだと考えられる

委員：たくさん先生の引き継いでもらいたいが、「その賃金では…」というのでは困る

委員：河内長野市の民間保育園は賃金面は、飛びぬけて高い低いはなく、だいたい揃っている。 保育園は、予算面から見て人件費があまりにも低い。これから保育士を確保できるのか心配。また、給食費、教材費も低すぎる。河内長野市では米ひとつ買うのも気を使って有機米、無農薬の米を買おうとしているが、保育園はどのようにしているのか気になる

委員：教材費というのはお道具箱があって、幼稚園的なものなのか？

委員：紙類や図書類の費用のことで、図書（絵本）は毎年新しい絵本が出てきている。保育士からの要望で買っているが、1回買うと30万円くらいかかるし、傷みが激しいのですぐに悪くなる。そういう意味で、110万円の予算は少なすぎる

議長：人件費の比率はどうなっていますか

委員： 保育園は66%を切っている。 保育園は61%。資金収支では 保育園は60%を切るくらいとなっている

- 委員： 保育園は61%。財務収支をみた時、整合性が無かったので再度提出して頂いた。整合性をとってこられたが、その他流動資産がマイナスで300万円となっている。何か理由があるのか分からないが、資産がマイナスということはまず無いことだと思う
- 議長： 保育園は財務的には、少し弱いようですね
- 委員：評価点数の平均で行けば、 保育園の方が高い評価ですが、単純な意見では、 保育園の方が高い方と 保育園の方が高い方と4：3になる。評価する時、5段階評価だったと思うが、なっていないところもある。そのままいくのか、そのところの了解を得たほうが良いのではないかと思う。また、採点評価のところで 委員が7点（方針のところ）がある。記録として残るのであればまずいのではないかと思う
- 委員：これは訂正できますね。もう一回計算しなおしてみます
- 委員：平均で評価するという事は皆で合意しましたね
- 委員：重要なところは10点評価でしたが、議長は奇数でも良いという考えですか
- 議長：そうです。まず、合意を得なければならないのではないのでしょうか。項目の中で、10点5点のものがある。書類審査、プレゼンテーションで200点、実施審査で100点、合計300点の平均で100点という事でご理解よろしいでしょうか
- 委員：確認という事で言わせていただきたいが、10点満点は5・4・3・2・1の倍の評価だと思っていたのだが、どうですか
- 議長：5点のところを倍にするということは議事録には載っていない。あしきり点をどうするか平均点をどれくらいに評定するか同率の時にどうするか保育内容についてとか大項目の配点の修正をしたということです
- 委員：皆さんもそういう理解であったのであれば良いです
- 議長：そういう理解でよろしいですか
- 事務局：評定の中で、7をつけている方も多く、10点満点としたところで9点、7点もいいのかという理解で入力している。偶数でなければならないという理解はしていなかった
- 委員：偶数でなければならないという議論はしていなかった
- 委員：確認だけです
- 議長：評価結果として残るし、請求があれば公表しなくてはならない。平均点で出すということは初めから決まっていた。300点満点の最高と最低をみると 保育園が一番差が激しい。こういう評価なので修正はしなくても良いと思うが、委員には訂正していただいて、これまでの話を聞いて判断していただきたい
- 事務局：平均点が基準となってくる。この順位で特別問題があるのか
- 議長：やり方を変えるつもりはない。それぞれの委員で判断するしかない。悩ましいの

が1位2位。保護者は 保育園、客観的に見ると 保育園となる。若干気になるのが、 保育園の理事長のパーソナリティーと、説明していた人に歯ブラシの管理のしかたについて聞いたが答えが返ってこなかった。人数が多いので一部の人が運営しているのかなと感じた。 保育園の次期園長となる人は民間委託の経験があると聞いている。基盤をとるか体制をとるか、と考えている

委員：保育に関することでは、 保育園に移管するとなると汐の宮保育所の保育はなくなってしまう。園長がしっかりした保育観を持っているので、主任は現園長の下で働くのではないかという不安がある

議長：ある意味 保育園も色は持っている

委員：保育に関するこだわりはあると感じた

委員：プレゼンテーションでそのようなことがわかるようにして欲しかった

議長： 保育園は保護者会のこと丁寧にも答えられていた

委員：保護者会についても聞いてきた。保護者会について何もかも把握しているわけではないが、ある程度把握して、話を聞いてもらえる雰囲気がある。 保育園は保護者の思いが伝わりにくいような気がする。経営上問題が無いのであれば保護者会としては 保育園を選んで欲しい

委員：役所的には人件費についてどう考えているのか

事務局：人件費は大事だと考えている。人件費が少ないということは、若い保育士やアルバイトが多いということに繋がり、経営上厳しい状況と考える。公立は人件費が9割を占めている

委員：平成21年は1億3000万円に対し8000万円、平成22年、23年は1億円に対し6600万円。落ちてきていることは落ちてきている。諸手当は毎年同じ額となっている

委員：本給と手当てが同じということは、ちょっと異常

委員：比率的には、その前は、80近くの時もあった

委員：口と実際は違う。書面は大事と考えている。 保育園の園長は、とっつきにくい保育士からの人気は有り、評判の良い人である

事務局： 保育園の園長はウエルカムの先生なので保護者の信頼は高い

委員：汐の宮保育所を完全に別のもと考えてくれればよいが、深読みしているかもしれないが、 保育所と同じにしていってと言われていたので、子どもらが同じ小学校に行ったときにどうなるか、また、園長、主任の力の差がはっきりしていることが気になる。他市に保育園に移管されるとカラーも違ってくると思う

委員：主任がしゃべらないのが印象的だった。今の園長のカラーなのか、主任の思いが見えてこない。プレゼンテーションの時も紙を読んでいただけだった。答えてくれるのは園長先生だけだったので、汐の宮保育所を引き継ぐにあたって主任の考えが聞けなかったことが不安材料となっている

- 議長：その面をどう判断するのかですね
- 委員：プレゼンテーションの評判は悪かった
- 議長：理事長、園長の下で実際どのような保育をされているのか
- 委員：主任も園長に負けず劣らずと聞いているが
- 委員：気は強いとは聞いているが。自分の言葉が無いということが不安
- 委員：主任が気を使っているのかもしれない
- 事務局：行政側から見た場合、子どもの安全性についてが一番大事と考えているが、現地を見られて、安全面での配慮についてのご意見をお聞きしたい
- 委員： 保育園は園庭に石ころが落ちていた。工事後そのままにされていたようだ。学校でも保育園でも石ころが気になる。何気なく投げた石ころが目にかかることも有り、視力が落ちたり失明したりすることもある。訴訟になるとダメージが大きい。もし、自分が 保育園の園長なら徹底的に石ころ拾いをする。一番気になるところ。 保育園あたりは自分が小さい頃、マムシがよく出た。最近は出ないらしいが警戒はしなくてはいけない。また、地域では北幼稚園の跡に出来た保育園ということでは知っている人はいるが、 保育園ということでは知らない人が多い。もっと地域に根ざしていかなければならない。小学校との交流もしていかなければならない。幼稚園は、集団行動では進んでいて、家庭から幼稚園に入るときに中々はいっていけないという面がある。保育園は個人を大切にしているので、小学校に入るときに一步段差があるという面がある。地域や小学校ともっと交流していかなければならない
- 委員：例えば、 保育園が引き継いだ場合、新入りなので、のけ者ではないが、そういう目で見られることは無いのか
- 委員：そういうことは無い。協調路線はとっていくと思われる。暖かい目で見てくれると思う
- 議長：安全面ではいかがか
- 委員：セキュリティ的には 保育所は安全だった。 保育園は2ヵ所に入りがあると言っていた
- 委員： 保育園は、門を入れて階段を上がっていくが玄関のドアは常に開放されている。常に誰かがいるので閉めないとの事。自信を持っている様子だった
- 議長： 保育園の園自体の敷地規模を見ると管理しやすく、スロープを作ったり、ビデオチェックをされたり誰かが必ずおられたりして、目に見えた管理をされている。また、シズ対策では15分に1回の視診されていたり裸足のエリアを作っていたり衛生安全面での配慮は非常に高い園だと感じた。公用車についても赤ちゃん対応の車が用意されている。第三者評価を受けているので対応はきちりされている
- 委員： 保育園と 保育園について、市側としては全く同じか

事務局：全く同じ制度の中なので、市内の法人でないといけないということはない

委員：不便さということはないのか

事務局： 保育園についてはよく分かっているので安心感はあるが、 保育園とは付き合いがないので嫌という訳ではない

議長：法人認可を市町村がやるということになった時には同じ市のほうが良いのだろうが、（遠い先にはあり得るかもしれないが）今の段階では問題がないと思われる。

保育園については、経営面をみると不安点はあるが、保育・人を見ると共感できるところもある

事務局：自由度がある分リスクもある。一概に言えない

議長：プレゼンテーションでは4法人とも汐の宮保育所の保育を引き継ぐといていたが、 保育園が引き継いだとき、保護者会として気になるところとはどんなところか。また、どのように変ると思うのか

委員：うたを歌う時に整列してから歌うとか、小学校に向けて45分間座れるように保育をする。と、いったところなどに感じる。また、次期園長先生と話し合える場が欲しい

事務局：今、おっしゃっている不安は市の方も同じで、いざ運営が始まって経営状態が悪くなっても困る。今までに 保育園をよく知っているからかも知れないが、 保育園が突っ走ることは考えにくい。今の園の運営が特徴的であれば、ある程度そうなる心配があるのではないかと思っていた。 保育園の裸足保育もここまでしているとびっくりした。その辺が他市なので判断しかねる部分がある

委員：汐の宮保育所では、市販のおやつを使用していないが。 保育園の市販のお菓子は無添加のお菓子なのか

委員：販売しているのは堺市内にひとつだけある無添加のお菓子を扱う業者。開発されたのは 保育園の保護者（お母さん）。数がまとまれば配達もしてくれる

委員：市販といっても子ども向けのお菓子ということか

委員：そうです

委員：今の時点で と言われても納得できない。やっぱり引き継いでもらうには、全体を通してみると 保育園が良い

事務局：他園と比べてみると 保育園は、汐の宮保育所と近いと感じる

委員：保育内容も近い。園長先生や次期園長先生の話聞いていても感じた

事務局：現地を見ていないのでなんともいえないが、 保育園は個性のある保育園。

保育園は特別なことをしていないのでスタンダードと感じている。この部分では汐の宮保育所に近いのではないか

委員：汐の宮保育所は、自転車の練習もしていないし、園長の考え方を聞いていても真逆な感じがする

議長：客観的に見て、どれだけ汐の宮保育所の保育を引き継いでくれるか。そういう点

では、財務状況はネックになってくる。そうなってくると 保育園のほうで根拠はあるようになる

事務局：整合性をどれだけ求めてくるかは不安がある

委員：引き継ぎ後、三者協議等の話し合う場をどれだけ持ってもらえるのかが心配。ただ、ずっと保護者も居れるわけではないので後の保護者に負担を残したくないと考えている

議長：それは、どんな法人が来ても同じことが言える

委員：保護者の要望をどれだけ聞いてもらえるのかが問題

議長：それについては、市にも入ってもらって、やっていただかなくてはいけない

事務局：それについては、 保育園については安心できる。手の平を返すようなことはしないと思う。付き合いがないので 保育園に関してはわからない

委員： 保育園は今後汐の宮保育所を、老人ホームにするらしいと聞いたが

事務局： 保育所は、老健のノウハウを持っていないので、それはないと思うが...

委員：ヒヤリングの時に理事長さんが、子どもの数は減っているが、保育ニーズは増えていると自信満々で言っていた

議長：そろそろ、適当であろうという法人を一社決めなくてはいけない

委員：今日、絶対決めてしまわなくてはいけないのか

事務局：そのようなことはない

委員： 保育園になってしまうのは納得できない。保護者会として持ってきた意見なので、納得しないで決めることは出来ない。もう一度みて納得して決めたい。今、決めてしまうとわだかまりが残ってしまう。 保育園の特色や、気づかなかつた部分も聞いたので、30日に納得して決めたいと思う

事務局：段取りとしては、今日でも次回でも大丈夫ということになっている

委員：委員の方々の意見を聞いた上で悩んでいる。気づかない点も教えてもらったし、財務的には素直に聞くしかない

議長：客観的にいいというものを証明するものがあると理屈がつく

委員：このまま、 保育園に決まってしまうと、保護者を納得させる自信がない。説明が難しい

議長：それは市がしてくれる

事務局：それは説明させていただくが、あくまで結果であり、今後このようにしていくということは説明させていただく

委員：30日に 保育園ということにはならないか

委員：そういう事にならないために時間が欲しい

委員：子ども達を預けるのに6年の基礎よりも何十年の基礎を持っているところに預けるほうがよいのではないか

委員：委員会としてどのようなことが大切にするかを考えることが必要。

- ・親和性
- ・強固な安定性
- ・財務的なこと

何を一番大切にしないといけないのか。要素としてコンサイスしなければならない。この委員会で決めた要素は委員会として決めたので、保護者にも市民にも説明がつくのではないかと思う

議長：第三者評価をきちんと受けているということは根拠があるということ。 保育園の園長の人物には惹かれるが第三者にどれだけ説明が出来るか、ということ。書面に「保護者の意見を最大限に聞き入れてください」ということを入れればよい。少ない情報の中で判断されているので難しいが、この委員会は市民の方から信託を受けた委員会なのでまかせていただくしかない

委員：それなら、なお且つ延ばしていただきたい

事務局：30日しか会議室はとっていない

委員：10月23日に会議をするとしても保護者会と話し合いますか

委員：個人的に 保育園に行って主任さんと話したいと考えている。このまま進むのは納得できない

委員：再度、確認していただきたい項目については提示し、「汐の宮保育所の保育の継承については三者協議の上で決めていきたい」ということを出していく

事務局：議長がおっしゃった、移管法人の選定結果について（報告）に書いてある「付帯意見」になると思う

委員：約束をしていただいた上で決定するということになるのか

事務局：公印を残してやっていくということになる

議長： 保育園にもう一度行かれますか

委員：行ってきます

議長：利害関係のある保護者会の風当たりがきついことも問題なのです

事務局： 保育園にだけ行くことが良くないのか

委員：見学という形で行く

議長：フェアでなくなる、ということになる

委員：絞り込んでいるのに無理か？不公平感があるなら4つとも行くことにするが

事務局：ルールで決まっているので委員としていくのは難しい

委員：普通の保護者なら問題は無いが委員なので問題があるということか

事務局：そうです。後で委員会としてはどうなのかと、突っ込まれる事もある

委員：公平にするなら、委員会の決定としてヒヤリングを追加するかですね。公平で保つというのは中々難しい。次期園長の話の聞いていないところは他の園でもある

委員：きちんと手順を踏んでいくなら、この場で決めるべき

委員：尚更、10月30日にして欲しい。聞きに行くことが問題なら行かないことにする。

今、決めるのは無理

委員：何か 保育園にして欲しいことを保護者会でまとめて織り込んでいただくとか最初の三者協議会に形にしてもらうのもひとつの方法だと考える

委員：経営面のことを言われると、強く押せないが保育面では 保育園を望む

議長：今やっている保育と変わらないので保護者には安心感がある

委員：日程の取り直しは可能か

議長：10月30日以外か。30日は予定していたがそれまでに出来ればいいと思う

委員：日程的には大丈夫なんですね

議長：この時点では最終なのでご判断いただきたい。今のことを踏まえた判断です

事務局：仮の評価ということでしたのでこのままでよろしいでしょうか。 委員の分は改めていただくという事で宜しく願います。30日に評価するのでその場で書き換えていただくという事でよろしいか

事務局：30日の日に再度確認していただいて、訂正がなければそれで行くという事でよろしいか。もう一度再確認させていただくが、違う点があれば、最終確認できるのですか

議長：今日は、仮採点ということでしたね

事務局：仮とはいえ、間違ったところの訂正ぐらいという認識を持ってもらえればよいと思う。10月30日午後2時～場所も301会議室という事で最終決めさせていただき、市長に報告という事でよろしいか

議長：30日は、この点数を各委員がもう一度さわっても良いという確認させていただきます。そして再提出をしてもよろしいですか。了承していただけるということですね。それぞれの委員が見落としていることを指摘していただく上で、修正していくということでした。その主旨に従えば、最終的に個々に最終点数を出していただいて決定ということですね。次回に出した点数が最終です。粛々と採点し、それを出していただくという感じです。それで了承していただくという事でよろしいですね

委員：その時、 保育園、 保育園が高い点数が出た場合も、客観的にみてそれに従うということですね。違う結果になった時にそれをどう受け止めるかですね

事務局：人数は多くてもリスクを負う事はある

委員：それは、平均を取るということに決めたので、各自の評価を受けて平均を取るということです

議長：各自、常識的な判断をしていただくという事ですね

事務局：資料にするのであれば、事前に評価を知らせていただく必要がある

議長：その場で採点するのが基本でしょうね